

2016年度第1回文化セミナー「ユネスコ世界文化遺産の見学と散策 リーマス探訪」実施報告書

1. 実施概要

春の新緑が美しいフランクフルトの北、タウナス山麓の森深くに残る古代ローマ帝国の境界柵「リーマス」跡並びに要塞を訪ね、歴史的遺産を肌で感じ、ドイツの歴史や文化の奥深さを知り関心を高める。

2. 日時

2016年5月29日(日) 午後2時～4時

3. 場所

Kastell Saalburg (古代ローマの要塞ザールブルク) 及び周辺
Saalburg 1 6350 Bad Homburg

4. 講師

大澤 武男氏 (歴史家、フランクフルト在住)

上智大学文学部史学科西洋史卒、同大学院西洋文化研究科修士課程終了。ヴュルツブルク大学より博士号 (Dr. Theol.) を授与。ユダヤ人とドイツの歴史に関する著書多数。

5. 参加人数

14名

6. 参加費

無料 (但し、入場料は自己負担)

7. 所管

大澤講師からの解説を聞きながら、約2時間に亘り、古代ローマ帝国の要塞である「Kastell Saalburg」周辺の境界柵「リーマス」及び要塞内部の散策を行った。解説を聞きながら見学をすることにより、個人で見学する際には知りえない、あるいは気付かない展示物の詳細や背景にある歴史的事象などについて見聞を深めることができ、参加者からは非常に好評であった。

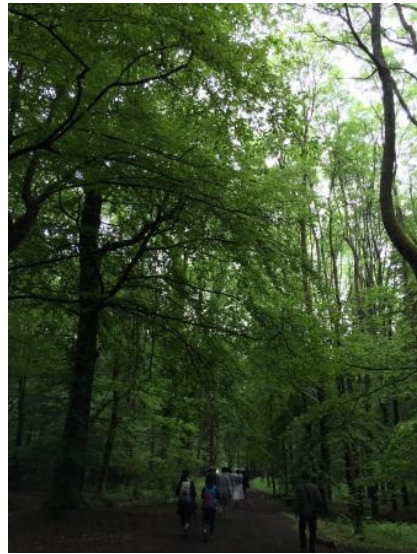
以 上

※ 当日の様子は次葉の参考資料を参照のこと。

【参考資料：当日の様子】



① 集合後、大澤講師から要塞入口にて全体説明



② 「リーメス(境界柵)」まで散策



③ 「リーメス」跡を見学



④ 要塞正面に戻りながら外壁を見学



⑤ 要塞正面にて詳細の説明



⑥ 要塞内の展示を見学